

さか うえ ちょう

坂上町



町内のシンボル六所山、炮烙山、仁王川と8つの集落を表す。

坂上町自治区データ

(H27年10月1日現在/市HPより)

世帯数：142世帯	自治区戸数：122戸
人口：429人	組数：8組
平均年齢：53.17歳	高齢化率：42%
面積：924.7ha	
小学校区：豊松小学校	
自治区たより：坂上ふれあいニュース	
集会所：坂上町公民館（平成18年度建築）	



坂上町の概要

坂上町自治区は、8集落からなる自治区で上部は六所山、炮烙山からなり、下山地区、足助地区と隣接、下部は王滝渓谷の上流部にまで及ぶ広大な地域である、縄文時代の遺跡も多く存在し、古くからこの地で人々が生活を始めていた事がうかがえる地域でもある。

清流仁王川が中心地を流れ、天下峯、六所神社、農村舞台もあり史跡めぐり、観光スポットとしても豊かな地域である。

六所山山麓には豊田市の総合野外センターがあり市内の小中学生が自然観察やキャンプ地として活用している。

由来・歴史

昭和37年4月1日東加茂郡松平村が町制施行時に、当時の9大字が統合合併した際に募集した中より選ばれて「坂上」という地名になった。九久平方面から来ると、坂の上に上がったと思えるイメージがある地区ではある。

1380年から1400年頃に松平太郎左衛門親氏が吉木山（現在の六所山）に奥州塩釜六所明神を勤請した頃から、現在につながる多くの歴史的神社仏閣が盛んに建立され栄えてきた、仁王小学校（現豊松小の前）があり周辺地域の要所でもあった。

名所・旧跡

坂上町には多くの名所・旧跡がありその存在は「坂上町史跡マップ」（207箇所）に記す。

【主な名所】

- 古六所神社：現在の六所神社の前身
- B29の里：昭和20年B29墜落地
- 乗越隧道：仁王川水を豊松地区へ供給
- 安全寺：松平親氏が天下平定の祈願寺
- 六所神社と農村舞台：この地の歴史的な中心
- 不動の滝：六所山登山道脇に流れる
- 足助裏街道：旧足助方面への裏街道
- 原田十吉翁石碑：玄武門突破の日清戦争勇士
- 焙烙山展望台：別名21世紀の城
- 古美山園地：フリークライミング岩
- 伊勢神宮遥拝所：六所山中腹の遥拝所



◆ 坂上町自治区民憲章 ◆

坂上町は、六所山・炮烙山・天下峯と、清流仁王川からなる自然ゆたかな山河にかこまれ、縄文時代からながきにわたるよき歴史と伝統をうけつぎこころ豊かさを区民で共有し、安全・安心して充実した暮らしのできるまちをつくりましょう。

- 1 豊かな自然の中で、いつまでも元気に暮らしが出来るまちをつくりましょう。
- 1 ふれあいを大切にして、心のあたたかいまちをつくりましょう。
- 1 規律をまもり、安全で安心して暮らしの出来るまちをつくりましょう。
- 1 歴史と伝統をうけつぎながら、良きふるさと魅力あるまちをつくりましょう。



行事・おまつり

坂上町の8集落には6の神社がある、更にそれぞれの集落で山の神、天王社、社口社、御鞆社、観音堂などがありお祭り遂行。

六所神社の秋の例大祭は神輿行列が古式豊かに厳かに行われます、この地域を代表するお祭りです。夏には自治区あげて仁王川で自然に生殖し飛び交う「蛸を鑑賞する会」も行います。

各集落ではそれぞれの集落で独自の行事を行っています、五平餅、お汁粉、豚汁、バーベキューなどを行いお互いの絆を深めています。

自治区内には5つの河川、林道が6、観光道、県道、市道、里道などが多くあり、環境美化など安全・安心して暮らせる自治区の維持に日夜努力しています。

六所神社の農村舞台は東宮口集落内にあり、吉木産会で維持管理と活用した行事を今後積極的に組んでいく計画をしています。



坂上町の8集落名

昭和45年の豊田市と合併前までは、この字名が住所であったが合併で坂上町になり消滅した。しかし今でもこの旧字名が町内の行事及び行政では使われていません、日常会話でも旧字名で通っています。

- 日明（ひあかり）、南篠平（みなみささだいら）
- 真垣内（まながいと）、東宮口（ひがしみやぐち）
- 仁王（におう）、杉ノ木（すぎのき）
- 下屋敷（しもやしき）、梶立（そだめ）



六所山「不動の滝」



坂上町の課題

- 1、少子高齢化
- 2、住宅が急傾斜地と隣合わせ
- 3、新築ができない
- 4、生活道路が狭く、歩道もなく不安
- 5、地域が広範囲で災害時の避難が困難
- 6、鳥獣被害が多く対策に苦慮
- 7、後継者不足

